

カリキュラム・ポリシー

技術経営専攻（専門職学位課程）においては、多様なバックグラウンドを持つ学生に対して、高い実践的な専門性と倫理観、国際的視野を持ち、多様な社会（産業界等）の急速な変化に敏速かつ革新的に対応し、社会を牽引することができる高度専門職業人である起業家・CXO※人材を育成する目的を実現するため、理論と実践の融合を図り、『東京理科大学専門職大学院教育課程連携協議会』と連携し、社会ニーズ・シーズに応える教育課程を開発・編成・実施する。

1. 急速に変化する社会ニーズに応え、課程の人材育成等に関する目的である起業家・CXO※等の構成要素に則した教育研究領域8領域（ビジョナリー・シンキング、イノベーション・起業、経営戦略と組織行動、先端科学技術と産業、経済学と財務・会計、マーケティング、リーダーシップとリスク、コンプライアンス）を設けて授業科目を開発し、ジョブ・ターゲットをより具体化した履修トラック（コース）3トラック（E-MOT、イノベーター、アントレプレナー）、学生個別の到達目標を実現する演習科目、トラックに共通する知識・知見を習

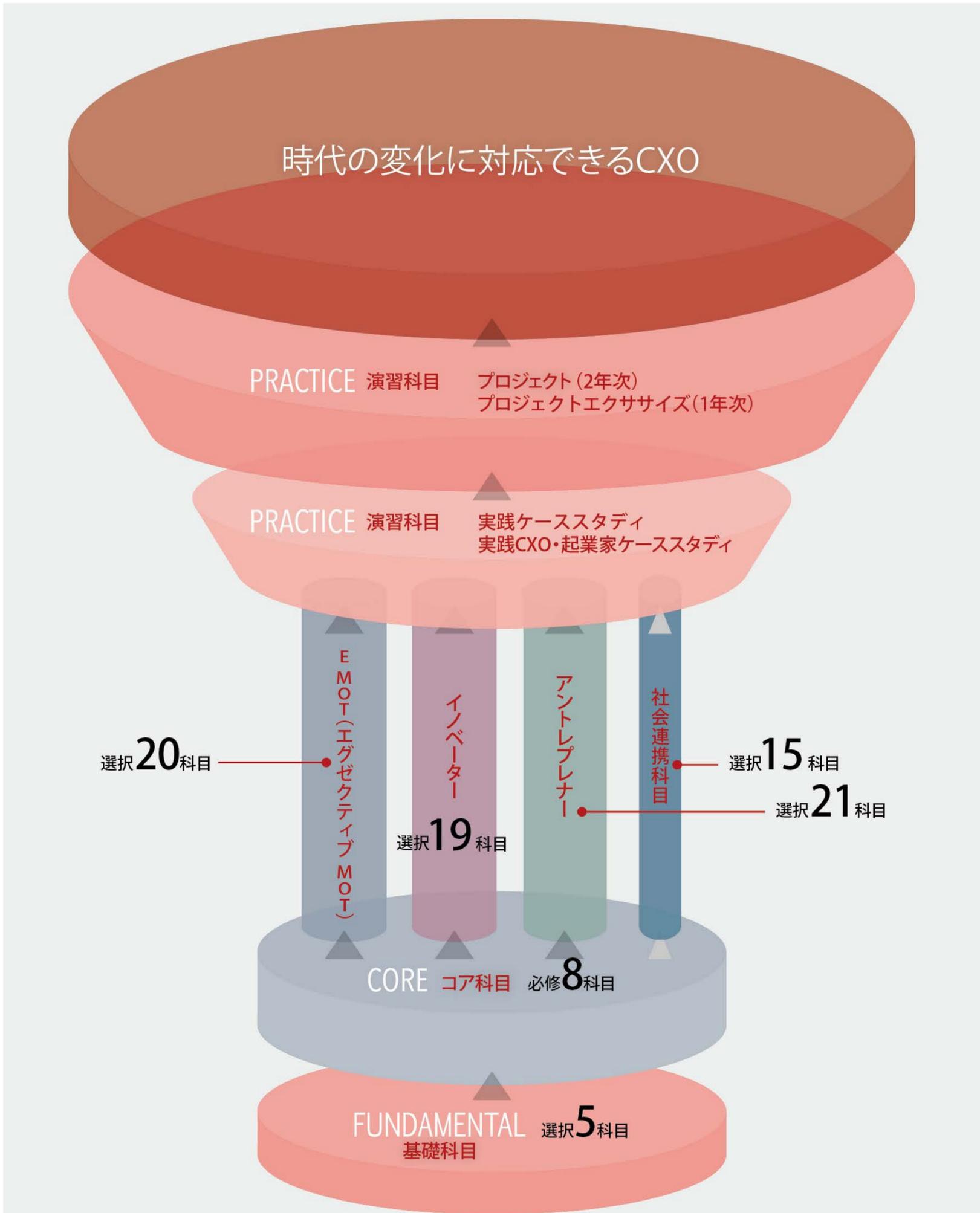
得するコア科目、コア科目履修に必要な知識を教授する基礎科目、社会の新しいイノベーション等を社会の変化に合わせて教授可能な社会連携科目に区分し、開発された授業科目を重点的・効果的に配置し、教育課程を編成する。

※CXO：CEO、COO、CTO、CFOなどの企業活動における業務や機能の責任者の総称

2. 「授業科目」では、常に社会状況を捉え、より高度で最新の専門的な実践知を段階的に身に付けるため、教育研究領域に科目区分による体系と重点的・効果的な授業科目を配置する。

3. 「演習科目」では、学生個別の人材育成等に関する目的を達するために、指導教員の指導下で、実践の理論化、企業調査活動、経営者等の各種インタビュー等により、学生個々の課題の明確化、仮説の設定、問題解決案を構想し、それを推し進めるプレゼンテーション及び論文等による論証・実践能力を総合的に身に付ける「プロジェクト」を体系的に配置し、学生・教員が共に経営者や起業家の講演等の1つのテーマを聴講し、個々の思考力や妄想力で討論を行い、他者とのバックグラウンドにより思考力や妄想力等の能力・知見に差異があることを理解し、学生個々の更なる思考力や妄想力等の総合的な能力・知見を涵養する授業科目を配置する。

4. 演習指導の過程では、高度職業人として国内外でグローバルな視野を持って活躍できる能力を育成する教育を行う。技術経営専攻（専門職学位課程）においては、社会で養った実務能力を基礎に、新技術から製品化までのイノベーションを担う力を身に付けるコース（「MTIトラック」とする）及び新事業の開発やベンチャー起業等によるイノベーションを担う力を身に付けるコース（「MBAトラック」とする）の2本の柱により、「高い職業倫理を備え、高度専門職業人として課題を発見し解決へ導くことのできる人材を育成する」という目的を実現するため、『東京理科大学専門職大学院教育課程連携協議会』と連携し、社会ニーズ・シーズに応える教育課程を開発・編成・実施する。



PRACTICE

演習科目

実践CXO・起業家ケーススタディ1~3
実践ケーススタディ

プロジェクトエクササイズ
プロジェクト1~4

TRACK

トラック科目

E-MOT

企業産業分析予測
 ユーザーイノベーション
 先進ビジネスモデル
 実践組織戦略
 アドバンスド戦略
 マネジメント
 サブスクリプション
 科学技術・産業政策
 フィンテック戦略
 グローバル・チャイナ産業
 イノベーション
 ICTビジネス展開
 企業合併と買収
 グローバル経済
 実践コーポレート
 ファイナンス
 行動経済学
 チャンネルマネジメント
 アドバンスド
 マーケティング戦略
 ブランド戦略
 21世紀に求められる倫理
 グローバルビジネス交渉力
 ビジョナリー・妄想力

TRACK

トラック科目

イノベーター

企業産業分析予測
 ユーザーイノベーション
 イノベーションの歴史
 起業家精神の原則
 実践組織戦略
 アドバンスド戦略
 マネジメント
 科学技術・産業政策
 フィンテック戦略
 研究開発マネジメント
 技術・ものことづくり
 デジタルトランス
 フォーメーション
 グローバル・チャイナ産業
 イノベーション
 ICTビジネス展開
 デザイン思考
 デザインコンセプト創造
 ブランド戦略
 デジタルマーケティングと
 ソーシャルメディア
 21世紀に求められる倫理
 ビジョナリー・妄想力

TRACK

トラック科目

アントレプレナー

企業産業分析予測
 ユーザーイノベーション
 イノベーションの歴史
 起業家精神の原則
 ベンチャービジネス
 フィンテック戦略
 技術・ものことづくり
 ICTビジネス展開
 スタートアップサイエンス
 デザイン思考
 デザインコンセプト創造
 デジタルマーケティングと
 ソーシャルメディア
 先端科学技術の知財保護
 特許制度の基礎
 国際企業法務と戦略
 地域知財戦略
 ダイナミック環境下の
 知財戦略
 21世紀に求められる倫理
 ビジョナリー・妄想力
 マネジメント総論
 日本企業の海外展開

社会連携科目

アドバンスドリーダーシップ
 価値創造
 生命関連産業特別講義
 生活関連産業特別講義
 サービス関連産業
 特別講義
 製造産業特別講義
 金融産業特別講義
 イノベーション・
 起業特別講義
 経営戦略・
 組織行動特別講義
 先端科学技術特別講義
 経済・財務・会計特別講義
 マーケティング特別講義
 リーガル戦略特別講義
 リーダーシップ特別講義
 ビジョナリー・シンキング
 特別講義



CORE

コア科目

イノベーションを生む企業文化
 組織進化論
 イノベーション志向型経営戦略論

科学技術論
 経営管理会計
 マクロ・ミクロエコノミクス

イノベーション志向型マーケティング
 コンプライアンス・リスク管理論

FUNDAMENTAL

基礎科目

科学技術基礎
 財務・会計基礎

マーケティング基礎
 経営基礎

経済学基礎

技術経営修士(専門職)の授与プロセス(修了要件等) [2020年度入学生]

【修了要件等】

修業年限は2年で、40単位以上を修得する。ただし、基礎科目に配置する授業科目は、修了要件に含めない。

- 1) 必修科目を全て履修し、修得する。
- 2) 実践CXO・起業家ケーススタディ1・2のどちらか一方を履修し、修得する。

【履修の各種条件等】

- 1) 教員から基礎科目の履修を指導された学生は、指定された授業科目を履修し、修得すること。
- 2) 2年次に配置科目の履修は、授業科目毎に定める指定科目の修得を履修条件とする。
- 3) 2年次に進級する条件は、全てのコア科目を履修し、修得する。